

バグダッド 日誌 (2月12日)

○What is SHINTO ?

バグダッド入りして最初の日曜日に、バンドの練習だと思って行った日曜礼拝に、毎週行くようになった。私は敬虔なキリスト教信者ではないのだが、英語の勉強のためと、曜日の感覚を失わないため、毎週日曜日午前6時の日曜礼拝は良いチャンスだと思い、これからもできるだけ参加しようと思う。

礼拝は、歌から始まる。毎週違う歌を毎週違うボランティアのバンドの演奏で参列者全員で歌う。私は歌を知らないで、ただ歌詞を読んでいるだけである。その後、聖書にある詩をみんなで読み上げ、チャペラン(宗教職)の大佐が説教を始める。この説教は、当然のことながら毎週違うのであるが、興奮しやすい大佐と、冷静な大佐がいて、なかなか面白い。興奮しやすい大佐は、話が佳境に入ってくると声を荒げて説教をする。あまり話のわからない私は、声を荒げる場面になると怒られているような気分になり、その場にいるのが辛くなってくる。その説教は約40分近く続く。その後、キリストの血を現す葡萄ジュースと、肉を現すせんべいのような物を食し、お祈りを捧げて約1時間で終了する。ある日の礼拝後、そのチャペランの方々と朝食を共にすることになった。当初の話は、趣味の話とか、ここバグダッドの勤務の話とか、一言で話すことのできる話題だったが、次第に宗教の話題にかわってきた。私の向いで食事をしていてチャペランの中佐がキリスト教を知っているかどうか聞いてきた。私は、イエス・キリスト(ジーザス・クライスト)とキリスト教の概要くらいは映画やテレビ等で見たことがあると答えた。中佐は満足そうに微笑んで言った。

「良いことだ。では、キリスト教がどのようなものか、教えてあげよう。父(信者は神様のことをこう呼ぶ。)は、地球を創造し、大地を創造し、生命を創造し、我々人間を創造し……」

彼の話は延々と続いた。次第に一緒に食事をしていた他のチャペラン達も、一人去り、二人去り、気が付けばその人の話を聞いているのは私だけとなってしまった。さあ、立ち上がろうと思ったとたん、「神道について教えてくれ。」といわれた。彼がキリスト教をあまり詳しく述べてくれたのに、私が「時間がない」と去るわけにはいかず、説明しようとしたところ、日本語でも上手く説明できないことに気が付いた。結局、「日本人の心の中には、ありとあらゆるものに神様がいて、それぞれがそれぞれの神様を信仰していて、その象徴として神社がある。」等のことを簡単に説明した。中佐はうなずいていたが、次に「じゃあ、仏教は?」と問われて、また困ってしまった。結局、「先祖を敬い、感謝していて、その象徴がお寺である。」等という簡単な説明に終わってしまった。上手く説明できないことを詫言ると、中佐は、「いいんだ。宗教が難しいのはよくわかる。それより、今度キリスト教のビデオを、君のオフィスに持って行ってあげるよ。」と言って朝食を終えた。ビデオはまだもらっていないが、それよりも、日本を勉強しなくては……。



バスラLO日々業務報告(2月12日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 (警戒態勢) :
2 特記事項	(1) (2)
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : (3) 定例会議への出席 : 事務会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) J4会議調整
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議 (3) 空路輸送等調整
5 その他(備考)	